	一刀人	19	<b>牛</b> 反	尹/ガ尹:	未計画ン	<u> </u>				
	事		原ごみ中間処理	· 保管事業				所属	部生活環境	
			やさしいまちづ	7.11				<u>所属</u> 課長	課 環境衛生名 西剛	示
政策			<u>. Pe Unit 5 フ</u> !社会の形成	\'J				<u>麻 友</u> 所属G(		<del>生</del> 。
14			ル等の推進					電話番		ж <sup>0</sup>
	·         : 計	款		事業	事業名		١4.٨	电 応 田	<u> </u>	
予算科目 =					<u>子</u> 不已 不処理関連	経費	法令权根拠	F器包装リサイク	ル法	
事務事業の概要(具									事業期	間
国分、溝辺、霧島、隼/ 務を民間業者(国分隼				ら排出・回収さ∤	1た資源ごみ(	紙類を	を除く)の中間	処理·保管業	□ 単年度のみ	
(中間処理・保管施設)									〒 岁午度编访	
平成19年度取扱量 台				ペットボトル∶251	t、その他プ	ラスチ	ック類:417 t、	有害ごみ:42	☑ 単年度繰返	H 9年度~)
t、廃食用油:44 t									→ ( □ 期間限定複数	
									┗ 年度	
1 現状把握の部(D									· ·	
(1) 事務事業の目的	と指	標				1	・イエレン	LT		
手段(主な活動) 19年度実績(19年)	麻にな	<b>年~七</b> -	<b>十                                    </b>				古動指	<del>標(事務事業の活</del> 名称	動量を表す指標)	<u>単位</u>
19十 <u>尺夫領(19</u> 4) 1事務事業概要と同じ	反  に1	11712	土仏/白劉)				排出。同		ゴル / 纸粗友限	
于初于宋顺文[1][0							アグの量	14以C16/C貝/ぶC		t <b>/ 年</b>
						_1				
20年度計画(20年)	度に	計画し	ている主な活動	)		9	1			
前年度と同様				•		ŕ	ウ			
							')			
対象(誰、何を対							対象指	標(対象の大きさを	表す指標)	W /1
国分、溝辺、霧島、隼ノ	人、福	山地区	から排出・回収さ	れる資源ごみ(約	<b></b> 抵類を除く)	_	=	名称 四マヤス姿源 -	ブルの早	<u>単位</u> t / 年
						$\Rightarrow$	が排出で	収される資源こ	- みの重	[/牛
							ウ			
意図(この事業に	よっ	て、対象	象をどう変えるの	<b>りか</b> )				標(対象における	意図の達成度を表	す指標)
効率的かつ適正に中間	引処珇	ᡛ·保管≀	が行われる。			<b>.</b>		名称		単位
								された資源ごみ量/回 <b>「の歳入</b> )	収された資源ごみ量	<u>%</u> 千円
						,	イ 益金(引	リの成人)		TD
結果(どんな結果	に結	び付け	けるのか)					果指標(結果の達	成度を表す指標)	
適切に分別を行う			·					名称		単位
·リサイクルされる 							· .	分別や資源物回収への協力	力を行っている市民の割合	%
						,	イウ			
(2) 総事業費·指標等	<b>等</b>	14 / <del>1</del> -	18年度	19年度	20年度		<u> </u>	22年度	23年度	
の推和		単位	(実績)	(実績)	(見込)		(見込)	(見込)	(見込)	
財国庫支出		千円								
事 満 都道府県支記 地方債 地方債 その他 投費 訳 一般財活		千円								
業内その他		千円								
投 質 訳 一般財派	原	千円	69,590	67,716	67,7	16				
事業費計(	A)	千円	69,590	67,716	67,7°	16				
<b>-</b>										
						_				
	1									
		t / 年	1,996	1,997	1,99	98	1,990	1,985	1,980	
活動指標	1							1	1	
	ウア	t / 年	1,996	1,997	1,99	38	1,990	1,985	1,980	
) 対象指標	7	( / 4	1,990	1,997	1,9	90	1,990	1,985	1,900	
יייורוער	ウ							1	1	
	ア	%	100	100		00	100			
成果指標	1	千円	34,055	47,843	40,00	00	40,000	40,000	40,000	
	ウア	%	88.7	91.3	90	0	90.0	90.0	90.0	
上位成果指標	7	70	00.1	31.3	90	.0	90.0	90.0	90.0	
エーデックンと1日・1次	ゥ							1	1	
(2) 車殺車業の理接		/ <del>+</del> 🗆	立口处					-	•	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等 この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

平成7年6月に公布された「容器包装リサイクル法」により、資源ごみの分別・リサイクル等開始され、天降川リサイクルセンターに委託することとなった。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 容器包装リサイクル法が平成18年6月に改正された。合併により、溝辺地区の資源ごみが新たに搬入・処理されるようになった。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特に無し

	事務事業名	資源ごみ中間	処理·保管事業	所属部	生活環境部	所属課	環境衛生課
2	評価の部(SEE) 政策体系との割		「価、ただし複数年度事業 ■ ■ 見直し余地がある		▼ 結びついている	加出	
目	この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びついっ	りは市(町)の政 か?意図すること					が活用並びに循環型社会の形成に
的妥	公共関与の妥	当性	■見直し余地がある	【理由】 🕏	▼ 妥当である 【理	曲)つ	
当性評	なぜこの事業を市からないのか?税金を する目的か?	で行わなければな −投入して、達成	一般廃棄物の適正処理、 円滑に行われるという点か			)、資源ごる	みのリサイクルや資源の有効活用が
価	対象・意図の姿	妥当性	■見直し余地がある	【理由】 🖘	☑ 適切である 【理	曲】与	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		   資源ごみの適正処理という 	ことで、対象・	意図ともに妥当である。		
	成果の向上余	地	□ 向上余地がある 【3	理由】 🤝	☑ 向上余地がない	【理由】	₹
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 原因で成果向上	資源ごみの中間処理·保管 している。	業務が適正が	かつ効率的に実施されて	ີ ສຫູ ຫຼຸ	イクル及び資源の有効活用に寄与
有	廃止・休止の原	<b>戊果への影響</b>	□影響無 【理由】 5	<b>-</b>	▼ 影響有 【その内	容] 🤝	
· 効性評価	事務事業を廃止・休響の有無とその内容		容器リサイクル法に基づく資	資源ごみの適	正処理・リサイクル等を推	進する上	で支障がある。
ТЩ	類似事業との紹 可能性	統廃合・連携の	□ 他に手段がある(具	体的な手段	事務事業)		
	目的を達成するには 以外他に方法はなり	いか?類似事業	□ 統廃合できる 🕤	□ 連携でき	る 🕤 📗 統廃合で	きない 🕤	□連携できない 🕤
	との統廃合ができる の連携を図ることに、 が期待できるか?		類似事業もない。 ▼他に手段がない【理	曲1 _1			
	事業費の削減	余地	▼削減余地がある【引		□ 削減余地がない	【理由】	<b>₯</b>
効率	成果を下げずに事美いか?(仕様や工法の協力など)		事業費は全て、随意契約は減余地はある。	こよる委託料で	た。合併前の方法を踏襲	しており委	託料算定基準等の見直しによる削
性	人件費(延べ業 減余地	業務時間)の削	□ 削減余地がある【3	理申】 🌛	☑ 削減余地がない	【理由】	<b>₽</b>
	やり方を工夫して延	見を下げずにより や委託でできな	委託事業につき削減余地が	がない。			
公	受益機会·費用	用負担の適正	□見直し余地がある	【理由】→	☑ 公平・公正である	3 【理由】	<b>⊅</b>
平性 評	心示地	いか?受益者	対象が資源ごみにつき、公	平・公正であ	)、受益者負担の事務事	業には該	当しない。
3	評価結果の総括。	と今後の方向性	 :(次年度計画と予算への	反映)(PLA	<i>(</i> ) 【担当	果長記入	
(1)	1次評価者として	の評価結果	(2)		振り返り、反省点)		14.7
	目的妥当性 有効性 効率性 公平性	☑ 適切	<ul><li>□ 見直し余地あり</li><li>□ 見直し余地あり</li><li>□ 料</li></ul>	レ及び資源の であるが、委言	有効活用等に寄与してに	1る。事業! も明確でな 図る必要が	•
(3)			案)···複数選択可	<b>□</b> 18	\ <b>+ 4<del>+</del></b> +±		) 改革・改善による期待成果 隆止・休止の場合は記入不要)
<	<ul><li>☐ 廃止</li><li>☐ 休止</li><li>☐ 目的再設定</li><li>☐ 事業統廃合·連排</li><li>改革改善案 &gt;</li></ul>	▼ 事業の	Dやり方改善(有効性改善) Dやり方改善(効率性改善) Dやり方改善(公平性改善)		状維持 通りで特に改革改善をし		では、「小正の場合は記入不安」 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
随			定方法(基準・根拠等)が必	ずしも明確で	ないので、一定の基準を	設ける	上 成 維 持 低 下
			すべき課題(壁)とその解	決策		1	
	F内関係課(財政課等 E託先である(株)国列		が必要。 )理解を得る必要がある。				

		-	<b>=</b> :	<b>マ</b> 々		3.1713.7	1481 11-12				所 届	部 生活環境	立仅
No. 事業名 分別基準週台物再商品化事業 所属課 環境衛生課													
					*********	/ 11							林
政	策	政策名 0			:やさい(まちづ)	(1)						名 西剛	## C
体		施策名 0			社会の形成						所属G(係		東し
		基本事業名 0				古光	市兴力		1	1	電話番	号 45-5111	
	予	5 算科目 <u>-</u>	<u>計</u> -般	款 0 4		事業 70010	事業名 芥処理関連	経費	法令 根拠	容器包	回装リサイクノ	レ法	
事	務	事業の概要(具	体的	かなやり	方、手順、詳細。	期間限定複数	数年度事業	は全仏	本像を記	述)		事業期	間
					分、溝辺、霧島、隼			<b>又され</b>	たの分別	基準適合	物(紙類 📗	単年度のみ	
を	余〈	)の再商品化を(!	財)容	P器包装	リサイクル協会(り	人下「容リ協」)に	委託する。						
1	構川	・牧園地区は伊	佐北	姶良環	境管理組合に委託	モレている.					V	<b>』</b> 単年度繰返	<u></u> .
		Тим	12-10	7H 5C-4C		50 (0.0)					_		H 9 年度~)
												」期間限定複数	
1	e e	状把握の部(D	Ω\								<u> </u>	┗( 年度	~ 年度)
		務事業の目的		<b>太</b> 亜									
		<del>弱事業の目的</del> 段(主な活動)	CJH	135					活動	指標(重	務事業の活	動量を表す指標)	
		度実績(19年)	要に	行った	主な活動)				7112	11 H 137 ( 3	名称	<u>助主で収り品は</u>	単位
分	別基	準適合物として	、びん	√類:78	2t、ペットボトル: 2		ラスチック製		7 王文	/v	6 + 7 m = 3	生、主人物	· //T
容	器:	420t 計,144	4tを	再商品作	ヒ(リサイクル)した。	0			プ円的	面化され	れた分別基準	产週百初	t <b>/ 年</b>
								$\boldsymbol{\vdash}$	1				
			度に	計画し	ている主な活動	)		$\Rightarrow$	1				
前年	年度	ほと同様							לי				
	対	象(誰、何を対	象に	してい	るのか)*人や目ののから	目然資源等	5 ~ 기 , 八 미니 甘		対象	指標(対	象の大きさを	表す指標)	<u>ж</u> /
		再辺、霧島、≒ノ â物(紙類を除く)		山地区	の一般家庭等から	の回収される資源	まこ か 分 別 基	$\boldsymbol{\vdash}$	고데	さわたく	名称 分別基準適合	≧物の景	単位 t / 年
Τ,	<u> </u>		0					$\Rightarrow$	ア 回り イ	.01010)	1) 加圣牛炮口	1700里	( ) +
									Ċ				
	意	図(この事業に	よっ	て、対象	象をどう変えるの	つか)			成果	指標(対	対象における意	図の達成度を表	
効	率的	かつ適正に中間	引処理	里·保管	が行われる。						名称	- A #	単位
								$\Rightarrow$			/ 分別基準	適合物の量	% <del>************************************</del>
								,	1 盆土	(市の歳	(人)		千円
	结	果(どんな結果	仁然	57%付け	(るのか)					成果指	湮(結果の達F	成度を表す指標)	
再i					呆護や有効活用が	で図られる。				-2016311	名称	NIX C C 7 Jan.	単位
		本事業の意図)						$\Rightarrow$	-	みの分別や資	源物回収への協力	を行っている市民の割合	%
		に分別を行う 'クルされる						7	イ				
		事業費 指標等	É		18年度	19年度	20年度	1	<u>ウ</u> 21年度	- 1	22年度	23年度	
(2)	MU	サ来貝 油点 の推利		単位	(実績)	(実績)	(見込)		(見込)		(見込)	(見込)	
		国康士山		千円	(DCINGE)	(DCMSE)	(202)		(20~)		(202)	(202)	
	車	9/1	出金	千円									
	業	源 地方債		千円									
投	費	マの他 ・一般財派		千円	2,450	1,756	1,75	2					
〉			<u>示</u> A)	千円	2,450	1,756	1,75						
量		子来臭山 (/	1)	113	2, 100	1,700	1,10	,,_					
			<u>ب</u>	+ //=	4 400	4 4 4 4	4 40	2		150	4 450	4 450	
		活動指標	アイ	t / 年	1,436	1,444	1,48	02	1,4	150	1,450	1,450	
		/口里//]日1示	ウ					-					
			ア	t / 年	1,436	1,444	1,48	32	1.4	150	1,450	1,450	
		対象指標	1		,		, -					, - ,	
			ウ				-		·				
		ct 田 +比+番	ア	% 壬田	100	100	10			100	100	100	
		成果指標	イウ	千円	1,346	1,065	2,00	JU	2,0	000	2,000	2,000	
			ア	%	88.7	91.3	90.	.0	Q	0.0	90.0	90.0	
	上	位成果指標	1	,,,	30.1	31.0					50.0	00.0	
			ウ										
(3)		務事業の環境											
	7 (	の事経重業を問	日拉台	1.たきっ	かけは何か?し	1つ 白どんかん	メ経ず開始さ	nt	のかつ				

平成7年6月に公布された「容器包装リサイクル法」により、資源ごみの分別とリサイクル等がスタートしたが、分別基準適合物を適正かつ安定的に再資源(商 品)化するため、容り協に委託する。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 容器包装リサイクル法が平成18年6月に改正された。合併により溝辺地区の分別基準適合物(紙類を除く)も容り協ルートで再商品化されるようになった。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特に無し

	事務事業名	分別基準適合	物再商品化事業	所属部	生活環境部	所属課	環境衛生課
2	評価の部(SEE) 政策体系との整		望価、ただし複数年度事業は ┃    見直し余地がある 【理		☑ 結びついている	【理由】	<del>-</del>
	この事務事業の目的 策体系に結びつくだが結果に結びつい	か?意図すること	分別基準適合物(資源ごみ)を の形成に寄与している。	遊切に再	商品化が行われてリサイ	クル及び資	資源の有効活用並びに循環型社会
的妥	公共関与の妥	·当性	■見直し余地がある【理	由  🎝	▼ 妥当である 【理	申」之	
評	なぜこの事業を市からないのか?税金を する目的か?		- 一般廃棄物の適正処理、再貨 円滑に行われるという点からも			)、資源ごる	みのリサイクルや資源の有効活用が
価	対象・意図の多	妥当性	■見直し余地がある【理	曲)之	☑ 適切である 【理	由プ	
	対象を限定·追加す 限定·拡充すべきか		  分別基準適合物(資源ごみ)の 	D適正処理	ということで、対象・意図	ともに妥当	である。
	成果の向上余	地	□ 向上余地がある 【理印	<b>₽</b>	☑ 向上余地がない	【理由】	₽
	成果を向上させる余果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	らべき水準との差 原因で成果向上	分別基準適合物(資源ごみ)の 効活用に寄与している。	D再商品化	業務が適正かつ安定的	に実施され	<b>いており、リサイクル及び資源の有</b>
有	廃止・休止の原	成果への影響	□影響無【理由】  □		▼ 影響有 【その内	容] 🦜	
対性評価	事務事業を廃止・休響の有無とその内容		容器リサイクル法に基づく資源	ごみの適	正処理・リサイクル等を推	進する上 <sup>・</sup>	で支障がある。
11Щ	類似事業との 可能性	統廃合・連携の	□ 他に手段がある(具体	的な手段,	事務事業)		
	目的を達成するには以外他に方法はないとの統廃合ができる	ハか?類似事業	┌ 統廃合できる 🦜 ┌	連携でき	る 🕤 📗 統廃合で	きない 🕤	■連携できない 🕤
	の連携を図ることに		類似事業もない。				
	が期待できるか?	全地	✓ 他に手段がない【理由 □ 削減余地がある【理由		☑ 削減余地がない	【理由】	5
	成果を下げずに事業			•			Ť
効率	いかっ(仕様や工法		事業費は全て、単価による随う  包装リサイクル協会が入札にする。				こは、委託先である(財)日本容器
性評	人件費(延べ美 減余地	業務時間)の削	■ 削減余地がある 【理日	∃] <b>→</b>	▶ 削減余地がない	【理由】	<b>₽</b>
	やり方を工夫して延	Rを下げずにより や委託でできな	委託事業につき削減余地がな	۲۷ ۱۵			
公 平	受益機会·費戶 化余地	用負担の適正	■見直し余地がある 【理	由] 🎝	☑ 公平・公正である	3【理由】	<b>₽</b>
性評	事業の内容が一部に ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	対象が分別基準適合物(資源	ごみ)につ	き、公平・公正であり、受	益者負担	の事務事業には該当しない。
3			(次年度計画と予算への反			<b>果長記入</b>	(SI)
(1)	1次評価者として 目的妥当性		(2) 王 <b>「</b> 見直し余地あり <u></u>	14総括(	振り返り、反省点)		
	有効性				(資源ごみ)の再商品化 ル及び資源の有効活用		正かつ安定的に行われており、資   アハス
	効率性 公平性	<ul><li>✓ 適切</li><li>✓ 適切</li></ul>	<ul><li>□ 見直 し 余地あり</li></ul>	7000017	ル及び負続の有効が用	分に可り	O CVIS,
٠,	今後の事業の方	向性(改革改善	案)・・・複数選択可		NT 04++		改革・改善による期待成果
	☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合·連 改革改善案 >	□ 事業の	Dやり方改善(有効性改善) Dやり方改善(効率性改善) Dやり方改善(公平性改善)		状維持 通りで特に改革改善をし		発止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向 上 成維 果 持
							* 低 下
(5)	改革、改善を実現	見する上で解決す	すべき課題(壁)とその解決:	策			
1							

		:	平成	19	年度	事務事	業評価シ	<b>-</b>				
N	0.		事		鎮中間処理·保	<b>学</b> 事業				所 属		
	О.		事業	T						所 属		:課
政	策				:やさい1まちづ !社会の形成	<b>(1)</b>				課 長 所属G		+ <del>==</del>
体	系		-		ル等の推進					電話:	,	東は
			<u>。</u> 会計			事業	事業名		法令,	E III	田 与	
	Ŧ				0 3 0 2	70010	<b>芥処理関連</b>	<b>E</b> 経費		容器包装リサイク	フル法	
事	務		具体的	りなやり		 。期間限定複	数年度事業	は全	体像を記述	)	事業期	]間
			人、福	晶山地区	の一般家庭等か	ら排出される紙類	類(資源ごみ)	の中間	間処理·保管	業務を民間業者	□ 単年度のみ	
		そする。									☑ 単年度繰返	
		、霧島、隼人、社地区 土佐屋リ			崎紙源センター/	〜搬入						H 9年度~)
					良環境管理組合	へ搬入					□ 期間限定複	
1	85	!状把握の部(	חטו								年度	[~ 年度]
		務事業の目的		標								
		段(主な活動)		./- <u>.</u> .					活動指		舌動量を表す指標)	334 /
		<mark>F度実績(19年</mark> 扱い量)	- 度に	.行った:	土な沽動)				一般家	名称 で 会称と排出・	回収された紙類	単位
Щi	崎糸	氏源センター:	_	1,892					アの量	(佐子り,り)北田		t / 年
		屋リサイクルセン						$\vdash$	1			
		<mark>F度計画(20年</mark> ほと同様	度に	:計画し	ている主な活動	1)		7	'			
Bu.	<del>'-</del> 13	ᇎᆫᆝᅴᆥᄽ							ウ			
	対	象(誰、何をタ	寸象に	してい	るのか) *人や	自然資源等			対象指	「標(対象の大きさ	を表す指標)	
国:	分、	溝辺、霧島、隼	人、福	晶山地区	から排出・回収さ	れる紙類		_	<b>⇒</b>  ### 1	名称 記聞される紙類	<b>の</b> 見	単位
								$\Rightarrow$	1 月 排画日	回収される紙類	の重	t / 年
									ウ			
かわる		<mark>:図(この事業 </mark> りかつ適正に中			象をどう変えるの が行われる	<b>のか</b> )			成果指	<u>(標(対象における</u> 名称	る意図の達成度を表	<mark>₹す指標)</mark> 単位
X/J-	<del>-1-</del> п	10. フ陸正に中	الما كرو ا	生 体目	J 1 1 1 1 1 6 8 .					星された紙類の量/	回収された紙類の量	<u> </u>
								7	イ 益金(7	市の歳入)		千円
	结	果(どんな結り	果に糸	きび付け	tるのか)				ウト位成	果指標(結果の)	達成度を表す指標)	
	類(	資源ごみ)が適	正に「	中間処理	!保管され、リサイ	′クル及び資源の	D有効活用が			名称		単位
		こ行われる。( に分別を行う。	基本₹	事業の意	(図)				· / · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	分別や資源物回収への協	協力を行っている市民の割合	%
		イクルされる。						<b>'</b>	イ ウ			
(2)	総	事業費·指標	等	単位	18年度	19年度	20年度		21年度	22年度	23年度	
		の推 」 国庫支出	:132	千円	(実績)	(実績)	(見込)		(見込)	(見込)	(見込)	<u> </u>
	車	9/1	出金	千円								
投、	業	内 地方値		千円								
投入	費	記 一般財	<u>.</u> 源	千円								
入量		事業費計	(A)	千円	0	0		0				
$\vdash$			ア	t/年	2,393	2,154	2,20	00	2,150	2,10	0 2,050	<del>                                     </del>
		活動指標	イ	17 +	2,000	2,104	2,2	00	2,100	2,10	2,030	
			ウ	+ <i>(T</i>	0.000	0.454	0.00	20	0.45	0.40	0.050	
		対象指標	アイ	t/年	2,393	2,154	2,2	UU	2,150	2,10	0 2,050	
			ウ									
	_	成果指標	アィ	% 千円	100 17,408	100 18,289	17,80	00	100 17,500			
		ル木1日信	イウ	I T	17,400	10,209	17,0	00	17,300	17,00	10,000	
		<b>在中田北坪</b>	ア	%	88.7	91.3	90	0.0	90.0	90.	0 90.0	
1	上	位成果指標	1				1				1	1

ウ<mark>ウ</mark> (3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 平成7年6月に公布された「容器包装リサイクル法」により、資源ごみの分別・リサイクル等が開始され、民間業者に委託することとなった。

事務事業を取り巻〈状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

容器包装リサイクル法が平成18年6月に改正された。平成19年4月に土佐屋リサイクルセンターが開所したことに伴い、溝辺地区分は平成19年度から当セ ンターへ搬入することになった。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特に無し

	事務事業名	紙類中間処理	·保管事業	所属部	生活環境部	所属課	環境衛生課
2	評価の部(SEE) を 政策体系との割		位、ただし複数年度事業は ■ 見直し余地がある 【理		▼ 結びついている	【理由】	<u>7</u> .
	この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びついて	りは市(町)の政 か?意図すること		•			<b>~</b> 原の有効活用並びに循環型社会の
的妥	公共関与の妥	当性	□見直し余地がある【理	曲)	▼ 妥当である 【理	由】ラ	
当性評	なぜこの事業を市からないのか?税金を する目的か?	が行わなければな ・投入して、達成	  一般廃棄物の適正処理、再資  活用が円滑に行われるという。			人紙類(資	「源ごみ)のリサイクルや資源の有効
価	対象・意図の多	妥当性	■見直し余地がある 【理	曲】	☑ 適切である 【理	申」之	
	対象を限定·追加す 限定·拡充すべきか		  紙類(資源ごみ)の適正処理と 	:いうことで、	対象・意図ともに妥当で	゚ある。	
	成果の向上余	地	□ 向上余地がある 【理日	∃) <del></del>	☑ 向上余地がない	【理由】	<b>₽</b>
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 原因で成果向上	紙類(資源ごみ)の中間処理・ に寄与している。	保管業務力	<b>が適正かつ効率的に実</b> 筋	<b>らされてお</b>	り、リサイクル及び資源の有効活用
有	廃止・休止の原	<b>は果への影響</b>	□影響無【理由】与		▼ 影響有 【その内	容] 🦜	
3効性評価	事務事業を廃止・休響の有無とその内容	<b>写は?</b>	容器リサイクル法に基づく資源	『ごみの適〕	E処理·リサイクル等を推	進する上	で支障がある。
	類似事業との約  可能性	統廃合・連携の	│	的な手段,	事務事業)		
	目的を達成するには以外他に方法はないとの統廃合ができるの連携を図ることに	ハか?類似事業 か?類似事業と	□ 統廃合できる ¬ □ □ 類似事業もない。	連携できる	3 🕤 🗌 統廃合で	きない 🕤	□連携できない つ
	が期待できるか?	より、成本の同工	┃ ┃ <b>▽</b> 他に手段がない【理由	) <del>(</del>			
	事業費の削減	余地	□削減余地がある【理日		☑ 削減余地がない	【理由】	<b>₽</b>
効率	成果を下げずに事業 いか?(仕様や工法 の協力など)		随意契約による委託事業では	あるが、委	託料を伴わないので削減	域余地はな	C
性	人件費(延べ業 減余地	養務時間)の削	□ 削減余地がある 【理日	1 <b>7</b>	☑ 削減余地がない	【理由】	<b>₽</b>
	やり方を工夫して延	具を下げずにより や委託でできな	委託事業につき削減余地がな	: l 1.			
公	受益機会·費用 化余地	用負担の適正	■見直し余地がある 【理	甲プ	☑ 公平・公正である	(理由)	<b>₽</b>
平	107176	. —					
計	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか? 受益者	対象が資源ごみにつき、公平	・公正であり	)、受益者負担の事務事	業には該	当しない。
	評価結果の総括の		(次年度計画と予算への反		N) 担当記 振り返り、反省点)	長記入	
(1)	目的妥当性		<u>(2) エ</u> 見直し余地あり <u>→</u>	:  中版U]口 ( ]	成7557、及自杰)		
	有効性	道 適切					に行われており、資源ごみのリサイ
	効率性 公平性	<ul><li>✓ 適切</li><li>✓ 適切</li></ul>	<ul><li>□ 見直し余地あり</li><li>□ 見直し余地あり</li></ul>	(ひ貝/ぶの)	有効活用等に寄与してい	19,	
(3)	今後の事業の方	句性(改革改善	案)・・・複数選択可		157014		改革・改善による期待成果
<	<ul><li>☑ 廃止</li><li>☑ 休止</li><li>☑ 目的再設定</li><li>☑ 事業統廃合·連打</li><li>改革改善案 &gt;</li></ul>	□ 事業の	Dやり方改善(有効性改善) Dやり方改善(効率性改善) Dやり方改善(公平性改善)		状維持 通りで特に改革改善をし		<ul><li>※止・休止の場合は記入不要)</li><li>コスト</li><li>前減 維持 増加</li><li>点</li><li>成 維</li></ul>
							果持低下
(5)	改革、改善を実現	する上で解決す	すべき課題(壁)とその解決:	策			
1							

N	Ο.		事業	務 特別	別清掃廃棄物運	證搬·処分支援	事業				所 所 属		
πh	<u>~</u>				:やさしいまちづ	くり					課長	名 西剛	
政体		1301111	_		社会の形成						所属G		
	۸,۰				の適正処理の		± W 4				電話	番号 45-5111	
		· 算科目 -	会計 一般		0 3 0 2 7		事業名 芥処理関連		· ;	依拠	こなし		
					方、手順、詳細							事業其	
					₹ランティア清掃(牧 等の処分費の助成		他する際に生し	びる廃棄	集物0	D連搬·処	分を支援す	□ 単年度のみ	
1 [	国分	地区 〔借上料〕	4 h 1 4 h	ン車:13 ン車:6,0	,000円、2トン車∶1 000円、2トン車∶3,0	0,000円、軽トラ							(S 50 年代~)
					に運搬・処理を年							期間限定複	
		ノ務局、 個山、 例 状把握の部 ([		<b>拟园地区</b>	区では、実施してい	1ない。(文抜し	(いない)			_		┗ 年度	要~ 年度)
		務事業の目的		標									
	手	段(主な活動)							j	活動指標		活動量を表す指標	
		E度実績(19年				#h 400/>					名称		単位
		型区 134百冶会 地区 100自治会			、206台、処分台数 2 52 台	汉 130日			ア	支援(助原	成)した台数		台
								, k	Н				
2	0年	度計画(20年	度に	計画し	ている主な活動	1)		$\Rightarrow$	1	持別清掃	を実施した自	目治会数	団体
		と同様				,			ゥ				
		<del></del>											
围。	対分が	<mark>象 (誰、 何を対</mark> 隼人 · 溝辺地区(	家にの白油	してい	るのか) *人や	目然資源等				対象指標	<mark>(対象の大きさ</mark> 名称	を表す指標)	単位
		動により排出さ						$\Rightarrow$	ア	国分、隼	人、溝辺地区	の自治会数	団体
								,		支援(助原	成)対象となっ	た借上車輌台数	台
	뇯	図(この車器)	- + a	ア <del>計</del>	象をどう変えるの	D4V)			ウ	式田长起	5/社会における	る意図の達成度を	<b>=</b> <del></del>
草					ませて) 支える に行われ、地域の領		これる。		,	以木竹竹	<u> </u>	5 息凶の達成反を	単位
								$\Rightarrow$	ア	支援(助/	成)した自治な	会数	団体
								,	イジウ	支援(助)	成)した台数		台
	結	果(どんな結果	見に怒	まび付け	tるのか)					上 位 成 果	指標(結果の	達成度を表す指標	)
清	掃眼	まに出る草木・土	砂等(	の廃棄物	勿の運搬・処分が₽	円滑に行われる	とで、自治				名称		単位
会等		)ホァンティア清f (基本事業の意図		刃がしや	すくなり、地域の環	環境衛生·景観₹	きか保たれ	$\Rightarrow$		ごみの減量	化等に取り組ん	っている市民の割合	%
		の減量化と適正		·適正	に収集・運搬、処	理される		,	イウ				
(2)	総	事業費・指標		単位	18年度	19年度	20年度			年度	22年度	23年度	
		の推 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	移 !仝		(実績)	(実績)	(見込)		(見	[込)	(見込)	(見込)	
		財都道府県支		千円									
	事業	内 地方債		千円									
投	費	訳といることでは、その他には、一般財活		刊	4,029	3.532	4,56	35					
入 量			(A)	千円	4,029	3,532	4,56						
里							·						
								_					
			ア	台	421	394	4(	00		400	40	-	-
		活動指標	イウ	団体	248	234	21	10		210	21	0	-
			ア	団体	681	681	68	31		681	68	1	-
		対象指標	1	I 台	421	394	40			400	40		
			ウア	⊞/★	040	004	0.0	20		240	00	1	1
		成果指標	1	団体台	248 421	234 394	28 40			210 400	68 40		-
			ウ		.= '						10		
	ı	A. C. E. F. I.	ア	%	69	78	7	72		74	7	6 78	
	上	位成果指標	イウ					-					
(3)		務事業の環境	瘦化									1	1
					、かけけ何かつ	リーエン ハー	カルキー・ロロエム・	L 1 - L	<b>↑</b>	٠			

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 旧国分市・旧隼人町において、自治会等が地域のボランティア清掃を実施した際に出るごみ(草木・土砂等)を処理するに当り、運搬手段や処分先の確保、処 分料等の問題が発生したことから、ボランティア清掃活動を支援・解決することとした。開始は昭和50年頃と見込まれる。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成13年4月から廃棄物の野外焼却(野焼き)が禁止されたことに伴い、当支援事業の申請件数が多くなった。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 自治会等から「清掃時(主に日曜日)に敷根清掃センターを開所(営業)してほしい」との要望が出ている。

	事務事業名	特別清掃廃棄	物運搬·処分支援事業	所属部 :	生活環境部	所属課	環境衛生課
2	評価の部(SEE) · 政策体系との		平価、ただし複数年度事業は ■ 見直し余地がある 【理		☑ 結びついている	【理由】	<u>ئ</u>
	この事務事業の目的 策体系に結びつくか が結果に結びつい	的は市(町)の政 か?意図すること		<b>v</b>			支援をおこない環境衛生・景観等
的妥	公共関与の妥		■見直し余地がある【理	里由】 🎝	▼ 妥当である 【理	曲プ	
性評	んなぜこの事業を市から らないのか?税金を する目的か?	∜行わなければな E投入して、達成	また、市が自治会の運搬の支 処理は自治体(市)の責務でる 妥当である。				、運搬、処理される。 一般廃棄物ののごみ)を適正に収集を行うことは
佃	対象・意図の多	妥当性	▼見直し余地がある【理				
	対象を限定·追加す 限定·拡充すべきか	١?	て実施しているので、残りの累 木・泥(ごみ)が適正に収集・i	霧島、福山、村 運搬、処理す	黄川、牧園地区でも実施 <sup>-</sup> る必要がある。	をして、†	れる。現在、国分・隼人・溝辺地区に 市が自治会の運搬の支援をして、草
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 【理日	由】 🥏	□ 向上余地がない	【理由】「	<b>→</b>
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	るべき水準との差 原因で成果向上			∵いるので、支援方法を討	調整して霧	雾島市全域にて、各自治会に対して
有	廃止・休止の反	成果への影響	□影響無【理由】		▼ 影響有 【その内	容] 🕤	
対性評価	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容	容は?	泥(ごみ)のを収集運搬を支持			事業をおこ 	こない適正に自治会から出る草木・
   	類似事業との紹 可能性 目的を達成するには 以外他に方法はない		<ul><li>⇒ 地区活性化補助金</li><li>戸 統廃合できる ラ</li></ul>	え、ふれあいか 連携できる	ボランティアの日補助金	•	<u> </u>
	との統廃合ができる の連携を図ることに、 が期待できるか?	か?類似事業と	て四かる四数はねせる人は	がある。	台会2万円、ふれあいホ	ランティア	'の日(市民運動推進室)自治会1
	事業費の削減	余地	▼削減余地がある【理日		□ 削減余地がない	【理由】	<b>₽</b>
效率				いる自治会清	<b>∮掃を調整して自治会へ</b>	、の支援方	5法を1つの制度として検討すること
性		業務時間)の削	▼ 削減余地がある【理日	由】 🤝	□ 削減余地がない	【理由】	<b>₽</b>
	「 やり方を工夫して延	果を下げずにより や委託でできな	委託事業の内容を変更して自	自治会への支 	:援方法を検討することが	が可能であ 	วิる.
公	受益機会·費用 化余地	用負担の適正	▼ 見直し余地がある 【理	里由】	□ 公平・公正である	理由】	<b>₽</b>
計	ままれる。 事業の内容が一部で でいて不公平ではな 負担が公平・公正に	ないか?受益者	対象が、国分、隼人、溝辺地 偏った事務事業ではある。 支				ナなので、一部の地区の受益者に をおこなう必要がある。
	評価結果の総括の		E(次年度計画と予算への反		) 担当記 長り返り、反省点)	<b>果長記入</b> 権	
	月的妥当性 有効性 効率性 公平性	<ul><li>□ 適切</li><li>□ 適切</li><li>□ 適切</li><li>□ 適切</li></ul>	<ul><li>✓ 見直し余地あり</li><li>✓ 見直し余地あり</li><li>✓ 見直し余地あり</li><li>✓ 見直し余地あり</li><li>✓ 見直し余地あり</li></ul>	会がボランテ 務であるため する必要があ	ィア清掃を行って出る草 、引き続き当事業にてE	自治会のす が一部地域 検討する必	
< 各	)今後の事業の方「 □ 廃止 □ 休止 □ 目的再設定 ☑ 事業統廃合・連 改革改善案 > 地区ごとに実施してい	向性(改革改善 ■ 事業の ■ 事業の 携 ■ 事業の ル 事業の	(案)・・・複数選択可のやり方改善(有効性改善)のやり方改善(効率性改善)のやり方改善(効率性改善)のやり方改善(公平性改善)を援方法の検討。制度を検討しまの支援制度等の周知をおこな	た後自治会	到で特に改革改善をし への支援をおこない各均	ない) (房	) 改革・改善による期待成果 産止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 点
現木	在、地域清掃につい	ては、各地区の自		であるため平等			とは困難だと思われる。 そこで、 草 地区活性化補助金事業との調整を

		平成		牛皮	<del>*************************************</del>	美評1111ン	<u> </u>			T			
No.			.務 不	法投棄対策事業	¥					所属			
		事業	台							所 属			:課
政策		_		やさしいまちづ	(1)					課長			
体系		0 3		社会の形成						所属G			策G
1173	基本事業名	0 3		の適正処理の						電話	番 号	45-5111	
	予算科目	会計 一般			事業 70010	事業名 芥処理関連	経費	法令根拠	廃棄物	の処理及	及び清	情掃に関する	法律
事務	事業の概要(	具体的	的なやり	方、手順、詳細	。期間限定複	数年度事業	は全	体像を記	<b>尤</b> )			事業期	間
不法	投棄を未然に防	止す	るため、ヨ	環境パトロール、看	≣板設置、その1	也啓発活動等	を行う	とともに不済	去投棄こ		П	単年度のみ	
分場	等で適正に処理	する。	,	れた廃棄物のうち 線その他主要幹約								単年度繰返	
				級での他工 <del>安</del> 軒派 は投棄ごみに関す					100 CV	100 0			H 7年度~)
参考	引不法投棄等か	多い	国分と隼	人地区では、環境	竟保全協会予算	でパトロール	員を酢	2置し(国分	:2名、隼	▶人:1		期間限定複数	
			投棄ご∂	りの回収·処理等、 ・	迅速に対応で	きる体制をと:	ってい	る。			<u>₽</u> (	年度	~ 年度)
	見状把握の部( 事務事業の目的		≥ 大亜										
	<u> </u>		1135				Ì	活動	岩標(事	終事業の	活動	量を表す指標)	
	年度実績(19年		行った	主な活動)				70 = 73	H 137 ( 37	名称	<i>/ LI 3/) =</i>	主とペクゴロボ	単位
	事業概要と同じ							マ共佳	<u> ファドオ</u> こ	计机安学	<b>Д</b> #:	<del>米</del> h	<i>II</i> +
								ア苦情が	<b>ጳ</b> ውጥን	法投棄等	の計	銰	件
							$\Rightarrow$	イ 回収1	,t-切.旺	里困難廃棄	奎物		件
		F度に	:計画し	ている主な活動	])		7	1 1111	الركيدية	E 1247 X 126 2	* 17J		11
丽年.	度と同様							ウ					
<del>-</del>	+免/計/ロチュ	+ <del>(7.</del> 1	-1 -11	フのか)ナーか	白好次语生			÷+ <del>(2.</del> -	七+西 / ユュ	4 0 土ナム	. <del></del> .	++K+# /	
	り <u>家(誰、何で)</u> 不法投棄ごみ			<mark>るのか) * 人や</mark> <sup>奎物</sup>	日然貝까守			XYAKI	日代示(以)	象の大きさ 名称	を衣?	9 指標)	単位
115 20	, 1743X*C07		- FEI XE 176 2	*17J				ア人口		பார			
							7		<b>玉難廃</b>	棄物の数			件
								ウ					
		によっ	って、対	象をどう変えるの	<b>のか</b> )			成果:	旨標(対		る意図	図の達成度を表	
小法	投棄をしない。						_	ア苦情	37 <b>%</b> 不3	名称 法投棄等	の件	光力	<u>単位</u> 件
							$\Rightarrow$	1 日間	X 0.417	<b>公汉未</b> 守	W   Τ:	<b>Χ</b> Χ	IT
								÷					
	吉果(どんな結							上位点	某指標		達成度	度を表す指標)	
不法	投棄をしない・さ	せなし	ハようにす	する。					7 - 1 - 1	名称	<b> </b>	<b>*</b>	単位
								ア 苦情 <i>/</i> イ	<b>ጳ</b> ውጥን	法投棄等	<b>の1</b> 十:	釵	件
							,	コウ					
(2) 糹	総事業費·指標	等	単位	18年度	19年度	20年度		21年度		22年度		23年度	
. ,	の推			(実績)	(実績)	(見込)		(見込)		(見込)		(見込)	
	財工国庫支出		千円										
事	都道府県3 源 地方(		千円										
事 投 費	内である		千円										
投貨	記 一般財	<u>.</u> 源	千円	1,481	1,936	2,34	43						
人 量—	事業費計	(A)	千円	1,481	1,936	2,34	43						
1 H	<u>i                                      </u>						$\dashv$						
		ア	件	164	166	15	55	15	50	14	0	130	
	活動指標	1	件	261	219		00	19		19		185	
		ウ		107.015	407.07	100 ::		100.5		400.0	$\perp$	400.000	
	対象指標	アィ	件	127,615 261	127,871 219	128,12	28	128,38 19		128,64 19		128,868 185	
	<b>みょうな 打日 信示</b>	イウ	1+	∠01	219	20	JU	18	,,,	19	U	100	
		7	件	164	166	15	55	15	50	14	0	130	
	成果指標	イ									1		
		ウ	1:1										
Ι.	- 公式田北井	ア	件	164	166	15	55	15	0	14	0	130	
1 1	位成果指標	1					-				-		

## | |(3)| 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

平成13年4月の家電リサイクル法及び平成17年1月の自動車リサイクル法等の施行に伴い、廃家電・廃自動車等の適正処理及びリサイクル等が開始され、 リサイクル料の負担義務が生じたことや市民の道義・モラル等の低下が要因と思われること等による廃棄物の不法投棄が行われるようになったため、不法投

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

不法投棄に対する罰則も強化されたが、特に国分地区においてごみのポイ捨て・たばこの投げ捨て等の不法投棄が目立つ。苦情及び不法投棄件数ともに ほぼ横ばいで、大きな変化は無い。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 地域の自治会長や議員等から不法投棄の防止及びごみのポイ捨て禁止条例等の制定について、意見・要望が出ている。

	事務事業名	不法投棄対策	事業	所属部	生活環境部	所属課	環境衛生課
2	評価の部(SEE) 政策体系との		価、ただし複数年度事業 ■ 見直し余地がある 【	は途中評価 理由) ラ	☑ 結びついている	【理由】	₹
目	この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びついて	へ?意図すること	不法投棄を未然に防止し、理、資源の有効活用等の推				・ 環境保全·美化、ごみの適正処 している。
的妥	公共関与の妥	当性	□見直し余地がある【	理由) 🦜	▼ 妥当である 【理	申】之	
	する目的か?		不法投棄の防止、不法投棄 必要であり、妥当である。	ごみの回収ス	及び処理困難廃棄物の)	<b>適正処分</b> 等	等に対するある程度の公共関与は
一個	対象・意図の姿	妥当性	■見直し余地がある【	理由】 🦠	☑ 適切である 【理	即之	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		不法投棄防止対策ということ	で、対象・意	図ともに妥当である。		
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 【理	曲】	□ 向上余地がない	【理由】	<b>₽</b>
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 原因で成果向上	環境・美化への関心やモラル るが、引き続き啓発活動や諸				相変わらず後を絶たない状況であ
有	廃止・休止の原	<b>は果への影響</b>	□影響無【理由】		▼ 影響有 【その内	容] 🤼	
効性評	事務事業を廃止・休響の有無とその内容		当事業を止めた場合、類はないう観点からも支障があり、 見		<b>を投棄等が増大していく。</b>	と考えられ	地域の美化や環境衛生の保全と
価	類以事業との	統廃合・連携の	□ 他に手段がある(具体	本的な手段,	事務事業)		
	可能性 目的を達成するには 以外他に方法はない との統廃合ができる	いか?類似事業	<ul><li>★</li></ul>	■連携できる	る 🕤 📗 統廃合で	きない 🕤	■連携できない 🕤
	の連携を図ることに、が期待できるか?						
H	事業費の削減	余地	<ul><li>✓ 他に手段がない 【理】</li><li>✓ 削減余地がある 【理</li></ul>		□ 削減余地がない	【理由】	<u></u>
効率	成果を下げずに事美 いか?(仕様や工法 の協力など)	<b>業費を削減できな</b>	不法投棄や苦情が相変わら	ず後を絶たた	ー ない状況であり、引き続き	· 啓発活動	や諸対策を推進することにより、不 向上に支障が出ると懸念される。
性	人件費(延べ美 減余地	養務時間)の削	□ 削減余地がある 【理	曲プ	▼ 削減余地がない	【理由】	<b>₽</b>
	やり方を工夫して延減できないか?成果 正職員以外の職員・いか?(アウトソーシ	具を下げずにより や委託でできな	各地区とも苦情や不法投棄 区においては、環境保全協・				に不法投棄等の多い国分·隼人地 と考えられる。
公	受益機会·費用 化余地	用負担の適正	■見直し余地がある【	理由】	☑ 公平・公正である	3 【理由】	<b>₽</b>
評	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	   私有地等の不法投棄への対行うこととなっており、公平性			講じるとと	もに、投棄ごみの回収・処分も自ら
			 :(次年度計画と予算への)			果長記入	
(1)	) 1次評価者として。 目的妥当性			,	振り返り、反省点) 自治会表現な老等が多	/ <b>Ш</b> λ m ±	海口の国人地区にもいて てきや
	有効性 効率性 公平性	□ 適切 ☑ 適切	▼ 見直し余地あり ▼ 棄等	を含め苦情 機関・団体・	等も多いので、特に重点	的に諸対	激しい国分地区において、不法投策を講じていく必要がある。また、 め、当事業効果を高めていく必要
< 不 ナ 地	今後の事業の方  「 廃止	<ul> <li>         寸性(改革改善</li></ul>	月直し余地あり   70	□ 現 (従来 と考えられる 磁場ぐるみの		がない) (房がない)	改革・改善による期待成果   発止・休止の場合は記入不要    コスト   削減 維持 増加   向   上   成   規   規   大   代   大
	, 以手、以音で <i>失り</i> になし						

		平	成	19	年度	事務事	業評価シ	<b>-</b>					
No	).	事	<b>=</b>	務 ごa	り処理場管理運	営事業				所 属	部		
		_	業	台						所 属	課	衛生施設	::::::::::::::::::::::::::::::::::::::
政策	箑				やさいほちづ	<b>(</b> )				課長		前田 理	
体系		施策名 0			社会の形成					所属G		施設管理	G
		基本事業名 0			処理施設の整備		# W A			電話者	首号	45-0070	
	子		計 般	款 0 4		事業 70020 敷根	事業名 清掃センタ・	一管理					ひび管理に関す に関する法律
事系	务員	 事業の概要(具 <sup>,</sup>	体的	なやり	方、手順、詳細。	. 期間限定複	数年度事業	は全	 体像を記述)			事業期	間
					ないごみ、粗大こ					マンター)の	単	年度のみ	,-5
維持	襘		類の	定期的	なメンテナンス、機 終務、計量事務、有							4年帝操作	
					3日、12月30日、		- 44 40++- <del></del>	_L_ n99	ᄆᄖᄯᆇᅃᅷᅆᄼ		<b>Y</b> #	单年度繰返 □	H 15 年度~)
搬 <i>/</i>  で	(#	時間∶平日及び祝	日に	(8時305	分から正午まで及り	ひ午後1時から <del>*</del>	十後4時まで、	工曜	日は午前8時30分	から止午ま	ПΨ	→ ( 月間限定複数	
	-処	L理手数料:10kg	につ	き60円(	市民自ら清掃セン	/ターに搬入する	る場合は100k	g以下	は徴収しない。)		<b>□</b> (*	年度	
		状把握の部(D						Ţ			- (		,
		務事業の目的の	と指	標				7					
		段(主な活動)	± 1-	را د ا ا	ナナンンエチャン				活動指標(	事務事業の流	<b>5動量</b>	を表す指標)	** <del>/</del>
		<mark>=度実績(19年度</mark> 事業の概要と同様		付った:	土な活動)			!		名称			単位
3717	9	⋾⋇⋁⋈⋞∊⋻⋇	0						ア ごみの搬 <i>)</i>	\量			t
20	)年	E度計画(20年度	まに	計画し	ている主な活動	)		$\Rightarrow$	イ 飛灰固化物	勿の搬出量			t
		を同様。	~,-	пп	CV - G - T - G - G - G - G - G - G - G - G	,		, ,	ウ				
	対	象(誰、何を対象	象に	してい	るのか) * 人や[	自然資源等			対象指標(	対象の大きさ	を表す	指標)	
家庭	耔	ミごみ、事業系ごる	み(た	こだし、牛	ሏ園 ⋅横川地区を図	余く)		١,		名称			単位
		事業者(ただし、牡						$\Rightarrow$	ア ごみの搬 <i>)</i>	/量			ţ
煭忚	以注	情掃センター (施設	文、武	対補、機	<b>益寺</b> )			,	イ 処理人口 ウ ごみ処理系	テル <del>ナ</del> 半5			人 系統
	<u>#</u>	図(この事業に	F	7 hts	象をどう変えるの	741)		İ	ワミみ処理系	た統数 対象にもは2	幸國人	の法式麻を書	<b>糸</b> 統
		図(この事業に 「適正に処理され		C, XJ	水でこう友人もい	(ינול			八木1日信(	<mark>対象における</mark> 名称	思凶(	<b>刀连</b> 风反を衣	<del>9 加ெ。</del> 単位
		安心して出すこと		<b>ごきる</b> 。				⇒	ア ごみの処理	量			t
								7	イ ごみ処理に	:満足してい	る人の	の割合	%
								ļ	ウ不具合・ト				件
		果(どんな結果							上位成果指	<u> </u>	<b>E</b> 成度	を表す指標)	77 / <del></del>
		、効果的にごみた 事業者の生活環			o。 公衆衛生の向上が	図られる			ア市域外で埋め	名称	ス ஹ. [	京年物の割ぐ	単位 %
ים כוו	<b>υ</b> ,	<del>ず未</del> 日の工/11域	- <del>56</del> 05	/M±、2	3.然间工07门工7	<b>⊠</b> 510€,		$\Rightarrow$	イー般廃棄物				%
								,	ウ 1tあたりの	一般廃棄物	処理:	コスト	<u> </u>
(2)	総	事業費・指標等	Ē	単位	18年度	19年度	20年度		21年度	22年度		23年度	• • •
<u> </u>		の推移			(実績)	(実績)	(見込)		(見込)	(見込)		(見込)	
		財 国庫支出:		千円									
投	事	源 都道府県支出 地方債	124	千円				-					
إاسا	業	内その他		千円									
投 :   \	筫	一般財源	Ī	千円	664,072	669,144	957,67	73					
入 量-		事業費計 ( <i>P</i>		千円	664,072	669,144	957,67	73					
<b>=</b>													
Ц				<u> </u>	24.000	20.000	07.0	20	27.000	07.000	$\bot$	27 000	
		活動指標	アイ	t	34,960 1,946	36,820 2,007	37,00 2,00		37,000 2,000	37,000 2,000		37,000 2,000	
		/口里//3日1示	ュウ	ι	1,940	۷,007	۷,00	00	۷,000	۷,000	1	۷,000	
			ァ	t	34,960	36,820	37,00	00	37,000	37,000	)	37,000	
		対象指標	1	人	112,999	113,975	114,0		114,500	114,500	)	114,500	
			ウ	系統	3	3	-	3	3	3		3	
		ct 田 +匕+=	ア	t O/	34,960 ± tm t=	36,820 ±+m+p	37,00	00	37,000	37,000	)	37,000	
		成果指標	イウ	% 件	未把握 104	未把握 130	- 1/	50	150	- 150		150	
			ア	%	9.4	10.7		1.4	9.4	9.4		7.6	

イ % ウ <u>千円/t</u> (3) 事務事業の環境変化 住民意見等

上位成果指標

11 この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

100

平成15年4月の敷根清掃センター稼働に伴い管理運営事業が開始された。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 合併に伴い溝辺地区のごみ処理量の分が増大した。維持管理に関しては、年に2回1炉を止めてメンテナンスを行っていたが、同時に2炉稼働しないと処理できないことが多くなったため、メンテナンスにかけられる時間が短くなっている。また補償期間終了に伴う事業費の増加が見込まれる。

100

11

100

11

100

11

100

11

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 議員等からメンテナンス費用が高いのではないかという意見がある。

100

10.7

	事務事業名	ごみ処理場管理	理運営事業	所属部	生活環境部	所属課	衛生施設課
2			平価、ただし複数年度事業				
目		内は市(町)の政 か?意図すること	■ 見直し余地がある 清掃センターの管理運営	· •	▼ 結びついている はり、ごみの適正処理に終		<b>→</b>
的妥	) <del>                                    </del>	当性	□見直し余地がある	理由) 🦜	☑ 妥当である 【理	曲) 🤝	
評	ばならないのか?税 達成する目的か?		「廃棄物の処理及び清掃 が定められているため妥当			第1項によ	り、ごみ処理は自区域内での処理
価	対象・意図の妥	妥当性	■見直し余地がある	【理由】 🎝	☑ 適切である 【理	申プ	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか	۱?				,	り、対象は限定すべきである。
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 【理	里田 プ	□ 向上余地がない	【理由】	<u>\$</u>
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	らべき水準との差 原因で成果向上			みのリサイクル、減量化な	が進み、施記	設の不具合、トラブル等の件数が
有	廃止・休止の成	成果への影響	□影響無 【理由】 5	•	▼ 影響有 【その内	]容] 🞝	_
D 効性評価	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容	学は?	事業を廃止・休止りること			上活環境へ	の悪化につながる。
Іщ	型 類似事業との約 可能性	統廃合・連携の	│	- 体的な手段,	事務事業)	_	
	目的を達成するには以外他に方法はない		□ 統廃合できる 🕤	□ 連携でき	る 🕤   🦳 統廃合で	きない 🕤	▶ 直携できない ラ
	との統廃合ができる。 の連携を図ることに。	か?類似事業と	市内には類似事業はない	。現状では他	クの手段は考えられない。	,	
L	が期待できるか?	- A 111	☑他に手段がない【理				_
	事業費の削減		▼ 削減余地がある 【理	事甲】之	□ 削減余地がない	【理由】	<b>→</b>
効率	<u> </u>			減量化が進め	)ば、燃料費、光熱費、消	挿品を削	減することは可能であると思われ
性	大件費(延べ業 <sup>7</sup> 減余地	業務時間)の削	□ 削減余地がある 【理	理由】 ラ	▼ 削減余地がない	【理由】	<b>₽</b>
	やり方を工夫して延 減できないか?成果 正職員以外の職員・ いか?(アウトソーシ	限を下げずにより や委託でできな ・ングなど)	このの里は人口垣(こと)に		持った現業職員が行って	ているため、	を変えない限り業務時間の削減は 、臨時職員、外部委託は難しい。
公 平	受益機会·費用 化余地	月負担の適正	□見直し余地がある	(理由)与	☑ 公平・公正である	3 【理由】	₹ <u></u>
性評価	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	ないか?受益者 こなっているか? 	区域内のほぼ全世帯(市)				
	評価結果の総括と 1次評価者としての		E(次年度計画と予算への (2)		N) 担当記 振り返り、反省点)	课長記入	
	自的妥当性 有効性 効率性 公平性	<ul><li>適切</li><li>適切</li><li>適切</li><li>可</li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li></li><li><!--</td--><td><ul><li>見直し余地あり</li><li>見直し余地あり</li><li>見直し余地あり</li><li>見直し余地あり</li></ul></td><td>民生活にとっ<sup>-</sup></td><td></td><td></td><td>な生活環境の確保に結びつくの</td></li></ul>	<ul><li>見直し余地あり</li><li>見直し余地あり</li><li>見直し余地あり</li><li>見直し余地あり</li></ul>	民生活にとっ <sup>-</sup>			な生活環境の確保に結びつくの
<	☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合·連接 改革改善案 >	▼ 事業の ▼ 事業の 携 ■ 事業の	条)・・・複数選択可のやり方改善(有効性改善)のやり方改善(効率性改善)のやり方改善(効率性改善)のやり方改善(公平性改善)	(従来	状維持 通りで特に改革改善をし J排出、あるいは生ごみ等	(序)	改革・改善による期待成果 選止・休止の場合は記入不要) コスト 削減   維持   増加 向   上
切・型・メす	り等の徹底を図られた レ尿汚泥の全量を陸上 社会の構築のために いンテナンス等を常に行	こい。 上処理するため、II も堆肥化施設での 行い、施設の不具	脱水汚泥の清掃センターへの の処理を継続したい。 【合、トラブル等の件数を減ら	か搬入はH199	年9月まで行われていた。	,循環	成維果持低下
(こ) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	、 ごみ分別排出の徹底を 民間による堆肥化施設 今後、機器類の経年会	を図ってもらいたい 役への脱水汚泥の ら化による取替えな ナンスに基づく余	)投入を検討したい。 などが増えることが懸念される 寿命診断や修繕と取替えの	るので、それに			ある。 温暖化対策としてインバーター機器

			平成	19	年度	事務事	業評価シ	<u>-                                    </u>					
N	0.		事		定型最終処分均	易管理運営事業	¥			所 属			
	•		事業	台						所 属		衛生施設	課
政	策	政策名			やさしいまちつ	5(1)				課長		前田 理	
体		施策名	0 3		社会の形成	, /++				所属G	( /	施設管理	<u>.G</u>
		基本事業名			別処理施設の整		<b>事</b>			電話		45-0070	
	子	·算科目	会計 一般	款 0 4	項 目 0 3 0 2	事業 70025 一般原	事業名籍棄物最終処分	分場管	<u>理費</u> 法令 霧 根拠 に	島市一般廃葬 関する条例	棄物最	と終処分場の	設置及び管理
事	務員	事業の概要	(具体的	内なやり	方、手順、詳約	田。期間限定複	数年度事業	は全	:体像を記述)			事業期	間
	事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業市民から持ち込まれた安定型不燃物の処分場の管理を行う。										<u> </u>	単年度のみ	
受付搬入物の確認 廃棄場所への案内 投入手数料は無料													
処分場名 受付方法 開場日 利用できる時間 国分芒谷 2:車で運ぶ場合、軽トラで3回以上運ぶ場合利用許可書が必要 12月31日~1月3日を除く日 月曜日-1年86:30-16:30 日曜日(祝祭日を含む) 8:00-15:00													
	国分芦谷 2:車で運ぶ場合、軽トラで3回以上運ぶ場合利用許可書が必要 12月31日 ~ 1月3日を除く日 瀬間利 現場での受付のみ(投入届出済証) 火・ホ・土を除く日(12月30日 ~ 1月3日まで休場)							月曜日-:	16:30 - 16:30、日曜日(初 8:30 ~ 17	-			
横川城山 現場での受付のみ 毎週日曜日(12月29日~1月3日を除く)						9:00 ~ 16		Iai È	单年度繰返				
牧園城山 利用許可証が必要 毎週日曜日(12月29日~1月3日を除く)					9:00 ~ 16		-		S 50 年度~)				
隼	人糸	走	利用許	可証が	必要 🖼	週水曜日および12月31日	日~1月3日を除く日		8:30 ~ 16	:30		期間限定複数	
				可証が	必要 第1.	第3水曜日及び毎週日曜日(12月	月29日 ~ 1月3日まで休場)		8:30 ~ 16	5:00	<b>□</b> >(	年度	~ 年度
		状把握の部		<.13E									
(1)	手手	務事業の目 段(主な活動	的と指	<b>i</b> 標				1	<b>:千新七</b> 年	票(事務事業の	:千計 =	なまずや挿〉	
		E度実績(19		行った	主な活動)				/ロ <b>王</b> //コロ1/2	<del>5 (尹初尹素の</del> 名称	/口到生	2 (2 (1 ( ) ) 日 ( 示 )	単位
		業の概要と同		-,,,,,,,					ア搬入台数		••••••		台
									アが八口女	Х		П	
								$\vdash$	イ 不燃物の	)搬入量		k g	
			年度に	計画し	ている主な活動	力)		7	1 1 ///// 1/5 0	······································			0
削工	干歧	と同様。							ウ				
	र्गत	免/誰 何を	対象に	-1.711	るのか) * 人や	白妖咨语笙		Ĭ	<b>初免</b> 指	=(対象の士きさ	た主オ		
		型最終処分場		_0 (01	20011) X 1-	7日然县原守			X13K1H1	票 <u>(対象の大きさ</u> 名称	<u> </u>	1日1示 /	単位
市	民							$\Rightarrow$	ア 埋立容量				m
								,	イ 処理人口	]			人
	音	図(この事業	±1. ⊢ -	って 対:	象をどう変える	<i>Ω</i> <b>1</b> \)			ウー成甲指標	票(対象における	z音网	の達成度を書	才比極)
		物が適正に処			水でこう交んる	02/3")			/以 <u>木1日1</u> /2	<del>素(X)家にのける</del> 名称		の圧成反でな	単位
·不	燃	物を安心しては	出すこと	こができる	5.				ア埋立処分	/ 量			kø
								,	イ 不燃物を	出すことに満足	としてい	1る人の割合	%
	结	果(どんな紅	果に約	结び付け	けるのか)			Ī	F 位成里	指標(結果の	達成度	を表す指標)	
	诓正	に不燃物が処	分され		, , ,					名称 名称 とめ立て処分され 物処理施設の		C DV JH IM	単位
·生	活	環境が保たれ	,る。					$\rightarrow$	ア市域外で埋	との立て処分され	る一般	廃棄物の割合	%
								7	1 一般廃棄	物処埋施設の カー般廃棄物	リ坂現 加加田	基準遵守率 コフト	% 千円/t
(2)	総	事業費・指	漂等	34 / <del>2</del> -	18年度	19年度	20年度		21年度	22年度		23年度	11371
Ľ.			准移	単位	(実績)	(実績)	(見込)		(見込)	(見込)		(見込)	
		財 国庫支 都道府県		千円									
	事	- 11		千円									
投	業典	内その		千円									
入	貝	別又只		千円	14,959	10,040	8,30						
量		事業費計	(A)	千円	14,959	10,040	8,30	<u> 51</u>					
								$\dashv$					
Ш			-	7.	+ 150.75	0 ===		70					
		活動指標	アイ	台 kg	未把握 未把握		3,7° 1,200,00		1,000,000	1,000,00	10	1,000,000	
	•	/口里//7日代示	<u>1</u> ウ	νğ	不允姓	1,200,000	1,200,00	JU	1,000,000	1,000,00	,,	1,000,000	
	対象指標		ア	ァ <mark> ㎡</mark> 306,79	306,794		306,79		306,794	306,79		306,794	
			1	人	127,615	127,871	128,12	28	128,383	128,64	0	128,868	
			<u>ウ</u> ア	kα	未把握	未把握	1,000,00	20	1,000,000	1,000,00	10	1 000 000	
	成果指標		イ	k g %	未把握 未把握			握	-	-	,5	1,000,000	
,-,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			ーウ										
		ア	%	9.4	10.7		.4	9.4	9.		7.6		
	工'	位成果指標		% 千円/t	100	100 10.7		00 11	100 11	10	1	100 11	
(3)	事	務事業の環	境変化	七·住民	意見等			•	<u> </u>	'	<u> </u>	11	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 国分芦谷不燃物処分場(S50~)、溝辺瀬間利最終処分場(S60~)、横川城山不燃物処分場(S55~)、牧園城山不燃物処分場(S59~)													
国生	分产	5谷不燃物処: ************************************	分場(S	50 ~ )、 }	黄辺瀬間利最終 <i>。</i> 宮山宝瀬を燃煙	処分場(S60~)、 加分場(S62~)、	横川城山不畑	然物奴 田運営	L分場(S55~)、 が開始された	牧園城山不燃	物処分	分場(S59∼)	
集人糸走不燃物処分場(S57~)、福山宝瀬不燃物処分場(S53~) それぞれ管理運営が開始された。													

事務事業を取り替く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成17年4月より霧島永水不燃物処理場は使用中止。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし。

	事務事業名	安定型最終処	分場管理運営事業	所属部	生活環境部	所属課	衛生施設課			
2	評価の部(SEE) 政策体系との		呼価、ただし複数年度事業に ┃    見直し余地がある  【理		■ 緑びついている	【理由】 「	<u>7</u> .			
的妥当性	この事務事業の目的は市(町)の政 策体系に結びつくか?意図すること が結果に結びついているか?		住民が搬出する安定型不燃物を適正に処分するため、安定型最終処分場の管理運営を行うことが、廃棄物処理施設の整備・管理に結びついている。							
	公共関与の妥当性		□見直し余地がある【理由】 🕟 🔽 妥当である 〔理由〕 🕤							
	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、 達成する目的か?		「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(廃掃法)の第6条の2第1項により、ごみ処理は自区域内での処理が 定められているため妥当である。							
	対象・意図の多	妥当性	■見直し余地がある【理	即之	▶ 適切である 【理	即之				
	対象を限定・追加すべきか?意図を 限定・拡充すべきか?		対象は市民、安定型最終処分場であり、一般廃棄物の自区域内処理の原則により限定すべきである。							
有効性評価	成果の向上余	地	□ 向上余地がある【理由】 □ 向上余地がない【理由】 □							
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?		搬入される安定型不燃物を適正に埋立処分しており、向上の余地はない。							
	廃止・休止の原	成果への影響	□影響無【理由】		▶ 影響有 【その内	容  🥠				
	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?		事業を廃止・休止すると、安定型不燃物が適正に処分できなくなり、生活環境の悪化につながる。							
	類似事業との	統廃合·連携	□ 他に手段がある(具体	的な手段,	事務事業)					
	目的を達成するには		─ 統廃合できる 🕤 🔲	連携できる	る 🕤 📗 統廃合で	きない 🕤	✓ 連携できない 🕤			
	以外他に方法はない の統廃合ができるか	?類似事業との	┃ ┃ 市内には類似事業はない。5	見状では他	の手段は考えられない。					
	連携を図ることにより 期待できるか?	)、成果の向上が	✓ 他に手段がない [理由]							
	事業費の削減余地		▼削減余地がある【理由		□ 削減余地がない	【理由】	₹			
効率	成果を下げずに事業費を削減できな いか?(仕様や工法の適正化、住民 の協力など)		6箇所ある安定型最終処分場の開場日数、開場時間等を見直すことにより、事業費の削減は可能であると思われる。							
性	人件費(延べ美 減余地	業務時間)の削	☑ 削減余地がある 【理由	ıl 🧈	□ 削減余地がない	【理由】	<b>₽</b>			
	がある。 やり方を工夫して延 減できないか?成果 正職員以外の職員も いか?(アウトソーシ	具を下げずにより や委託でできな	6箇所ある安定型最終処分場の開場日数、開場時間等を見直すことにより、事業費の削減は可能であると思われる。							
公	受益機会・費用	用負担の適正	▼ 見直し余地がある 【理	即之	□ 公平・公正である	3 【理由】	<b>₽</b>			
評	化余地 事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	一部の受益者に偏っていると	:思われるの	ので、受益者負担は公平	- 公正でな	いと思われる。			
3 (1)	評価結果の総括。 1次評価者として		E(次年度計画と予算への反		N) <u>【担当</u> 振り返り、反省点)	課長記入	欄】			
(1)	目的妥当性	☑ 適切	□ 見直し余地あり 🛶	. א בונטאידיו .						
	有効性 効率性				て安定型不燃物を適正に てはならない業務である。		ことが清潔な生活環境の確保に結			
	公平性	<b>適切</b>	▼ 見直し余地あり							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可										
			すべき課題(壁)とその解決				成維持低下			
(5) 厚										